

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
数学	数学A	2	2	全科	選択	改訂版 最新数学A 数研出版

1. 学習の到達目標

場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を育てるとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の規準	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質及び整数の性質における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題・宿題・ノートなどの提出物の状況、定期考査、小テストなどを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

組み合わせと確率は、皆さんの身近な所にもよく見られます。例えば、クラスマッチの試合数や宝くじなど。サッカーや野球でも今はデータ重視ということで、確率に置き換えて相手との試合で勝てるかどうかも考えたりします。

また、図形に関しても、最近はクイズ番組などでも登場するようになりました。発想の転換や柔軟さは、このような学習から養えるものかもしれません。

この数学Aを勉強することで、そのような数学的な考え方が身に付くようになればと思います。

4. 年間指導計画

数学A	指導項目	進度		指導項目	進度
第1章 場合の数 と確率	第1節 場合の数 1 集合 2 集合の要素の個数 3 樹形図、和の法則 4 積の法則 5 順列 6 円順列と重複順列 7 組合せ	4月 5月 6月	第2章 図形の性質	第2節 空間図形 1 2 空間における直線と平面 1 3 多面体	1 2月
	第2節 確率 8 確率の意味 9 確率の計算 10 確率の基本性質 11 和事象の確率 12 余事象の確率 13 独立な試行の確率 14 反復試行の確率 15 条件付き確率	7月		第3章 整数の性質	第1節 約数と倍数 1 約数と倍数 2 倍数の判定法 3 素因数分解 4 最大公約数と最小公倍数 5 割り算における商と余り 6 余りによる整数の分類 第2節 ユークリッドの互助法 7 ユークリッドの互助法 8 1次不定方程式
第2章 図形の性質	第1節 平面図形 1 角の二等分線と比 2 三角形の外心、内心、重心 3 三角形の辺の比の定理 4 円周角の定理 5 円に接する四角形 6 円と接線 7 接線と弦の作る角 8 方べきの定理 9 2つの円 10 作図 11 線分の長さで作図	9月 10月 11月		第3節 整数の性質の活用 9 有理数の小数表現 10 n進法	